

令和6年度 事業計画

1、基本方針

高齢者が働くことを通して、知識や技術・経験を生かせるよう就業の場を確保し提供することにより、高齢者の社会貢献・社会参加と生きがいの充実、或いは健康の維持・増進に寄与し、活力ある社会づくりに貢献する。

今後においても、急速な少子・高齢化が進むことが予測される中、シルバー人材センター（以下、センターと表記する）会員も高齢化で、体調不良などにより退会する会員が増えている現状にある。

昨年度は、徐々にではあるがセンターの活動を活発化させ、ビューティーセミナーやスマホ教室、そして創立30周年を記念した感謝祭など、会員が喜んで頂けるような企画を実行してきた。これにより会員拡大も実現出来、昨年度は14名の新規入会があった。

センターの基本である請負・派遣業務についても、業務内容により増減はあるが、昨年並みの受注実績を維持することが出来た。

本年令和6年度も、厳しい世界情勢・物価高騰により生活しづかい状態にはあるが、それを打破する企画を立案・実行し、目的である新規会員拡大・会員満足に繋げていきたい。

組織・業務運営の面では、高齢化の進展による会員の離脱、定年制延長による会員候補の減少などの現状がある反面、清掃・草刈・草取り・除雪等これまで市民が自分でやってきたことが出来なくなり、センターに依頼してくる例が昨年に引き続き増加傾向にあり、センターの役割は増大している。

厳しい環境の中ではあるが、会員・職員が一丸となって、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を常に認識し、依頼者である市・市民・企業に寄り添った運営を図り、センターの存在意義を確かなものにしていく。

2、事業実施計画

(1) 広報活動の強化による新規会員拡大

市・市民・企業におけるセンターの役割は年々増大している反面、加齢・病気等により会員を退会していく現状があり、昨年は14名（男性5名・女性9名）の新しい会員を迎えた一方で、高齢・病気・転居を理由に退会した会員が26名（男性15名・女性11名）と、入会者を上回っているのが現状であり、就業に対する需要と供給のバランスが崩れ始めている。まだまだ、センターの存在というのが認知不足というのがあることから、市内に集う場所にポスター掲示・ビラ配り・新聞折り込み、

会員の友人知人紹介、携帯スマートフォン・ホームページを駆使したデジタルを使った新規会員拡大を目的とした広報宣伝活動を強化し、特に人手不足分野・現役世代を支える分野や入会者が少ない女性会員を拡大するためのプロジェクトチームの結成など抜本的取組みを強化する。

(2) 催し物開催の継続的实施

昨年度、ビューティーセミナー・スマホ教室・大感謝祭など催し物の企画・実施を積極的に行ってきた。今年度も引き続き継続的に実施し、会員満足はもちろんのこと、新規会員拡大にも繋げていく。

(3) インボイス制度の導入・契約方法の変更

昨年10月、インボイス制度が導入されたが未だ手探り状態にある。今後契約方法の見直しなど請負の仕事において変更点が出てくる。まだ、概要など決まっていないので決まり次第、形にしていき、会員に説明を経た後に順次進めていく。

(4) 安全就業の徹底

センターの活動は安全就業が大前提であるが、去年は、大きな事故は無かったが事故による負傷は、会員のみならずご家族の生活にも重大な影響を与える。安全適正就業委員会をはじめ、職員の作業現場巡回や事故防止啓発を実施している。会員個人が十分な認識と安全措置を講じることを基本とし、会員相互の安全チェックなど組織的な防衛も機能させることが必要である。

本年も、安全適正就業委員会の活動・職員の作業現場巡回・講習会を通し、事故ゼロを目標とした取組みを行う。

(5) デジタル推進の取組み

会員所有の携帯・スマートフォンにSMS（ショートメッセージサービス）を通して情報配信し、周知を促した。しかしながら、まだまだ普及とは至らず、今後とも就業情報・イベント情報等の発信、また発信する中身としても会員に興味を持つような文面等検討しながら積極的に行っていく。また、スマートフォン教室を1か月に1回と回数を増やし、会員のスマートフォン使用スキルを上げていく。

3. 事業目標

令和6年度事業計画に基づき、次の事業目標を定め、会員、役職員一丸となり目標達成に向けて取り組んでまいります。

	令和6年度計画	令和5年度計画
会員数	250人	250人
請負契約金額	74,254,000円	72,790,000円
派遣契約金額	5,000,000円	4,650,000円
請負延人数	14,100人	14,000人
派遣延人数	1,200人	1,050人